

令和2年度 多摩六都フェア中止・開催実績

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者及び関係者の健康と安全を第一に考慮して、予定していた9つの多摩六都フェアのすべてを中止としました。
- 多摩六都 高校生写真展（清瀬市）は、中止の決定後に、株式会社ジェイコム東京の協力により、同社ケーブルテレビ番組「ジモト応援！つながるNews」内のコーナーで、「多摩六都高校生写真展×つながるNews」として開催しました。
- 水と緑ウォッチングウォーク（西東京市）が中止となった代わりに、「たまろくナビ」（協議会ホームページ）に、身近なみどりを紹介する「散歩コース」を追加しました。

区分	名称	開催状況	開催日	担当市	備考
文 化	1 こだいら合唱団 小平市民オーケストラ演奏会	中止	(予定) 令和2年 12月13日(日)	小平市	
	2 多摩北部5市美術家展	中止	(予定) 令和2年 12月8日(火) ～12月13日(日)	小平市	
	3 ぴゅあ あーと展	中止	(予定) 令和3年 2月24日(水) ～2月26日(金)	東久留米市	
	4 パラアート制作ワークショップ 展覧会・表彰式	中止	(予定) 展覧会：令和2年 10月8日(木) ～11月28日(土) (5市を巡回)	西東京市	
ス ポ ー ツ	5 多摩六都スポーツ大会 「2020ポッチャ多摩六都カップ」	中止	(予定) 令和2年 12月5日(土)	清瀬市	
緑 の 保 全	6 水と緑ウォッチングウォーク	中止	(予定) 令和2年 10月3日(土)	西東京市	ホームページの 「散歩コース」 をリニューアル
青 少 年 健 全 育 成	7 多摩六都 ヤング・ダンスフェスティバル	中止	(予定) 令和3年 2月20日(土) 21日(日)	小平市	日程等公表後に 中止
	8 多摩六都 ヤングライブフェスティバル	中止	(予定) 令和3年 2月14日(日)	東村山市	
	9 多摩六都 高校生写真展	中止	(予定) 令和3年 2月7日(日) ～2月13日(土)	清瀬市	日程等公表後に 中止
CATV にて 開催		令和3年 3月15日(月) ～3月19日(金)	清瀬市	「ジモト応援！ つながるNews」 J:COM番組内	

(1) 文化事業（多摩六都フェア）

ア 多摩六都フェア 2020 こだいら合唱団小平市民オーケストラ演奏会 （小平市） 【中止】

- (1) 事業名称 多摩六都フェア 2020 こだいら合唱団小平市民オーケストラ演奏会
- (2) 事業内容 音楽文化豊かな多摩六都の形成のため、多摩地域を拠点に活動している市民オーケストラと共に合唱演奏会を催す。
出演する合唱団員を5市の広報紙(5月頃)等を通じて広く一般公募し、この演奏会のために「こだいら合唱団」が結成される。7月上旬の結団式以来、毎週水曜日の夜間にルネこだいらにおいて合唱指導者の指導のもとに練習を重ね、本番に臨む。
オーケストラについては、多摩六都地域を拠点に活動している「市民オーケストラ」と共に実施することとしており、毎年度、入れ替えを行い、広域的な連携を図っている。
本年度は、団員募集の段階で新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言が発令され、その後も募集の見込みが立たず、開催を中止した。(令和3年6月17日 たまろくナビ掲載)
- (3) 日時(予定) 令和2年12月13日(日) 午後3時～午後5時
- (4) 場所(予定) 小平市民文化会館(ルネこだいら)大ホール
- (5) 出演者(予定) 指揮：川嶋雄介 管弦楽：小平市民オーケストラ 合唱：2020 こだいら合唱団
独唱：盛田麻央(ソプラノ)、内山信吾(テノール)、与那城敬(バス)
- (6) 曲目(予定) グノー：聖チェチーリア荘厳ミサ ほか
- (7) 参加状況 来場者数 一人【令和元年度：868人】
- (8) 事業費 一円(予算額2,455千円)
- (9) 主催 多摩北部都市広域行政圏協議会、(公財)小平市文化振興財団 開催市・小平市
企画運営・2020 こだいら合唱団実行委員会、小平市民オーケストラ

イ 多摩六都フェア 第33回多摩北部5市美術家展（小平市） 【中止】

- (1) 事業名称 多摩六都フェア 第33回 多摩北部5市美術家展
- (2) 事業内容 多摩六都フェア「多摩北部5市美術家展」は、多摩北部5市を代表する著名な画家の方々の作品を、地域住民に鑑賞してもらうことにより、市域を越えた芸術家及び市民の交流を図るとともに、地域内における文化芸術の普及と還元を図ることを目的に実施している。
当初は「圏域美術家展」として、清瀬市郷土博物館で行われていた。第16回(平成15年度)より多摩北部5市を巡回して開催しており、平成23年度に「多摩北部5市美術家展」へ改称した(事業名の改称は平成29年度)。5市を代表する著名な画家の方々の作品を展示し、様々な画風を展開している。
本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者及び実行委員会関係者の健康と安全を考慮し、開催を中止した。(令和2年9月2日 たまろくナビ掲載)
- (3) 日時(予定) 令和2年12月8日(火)～12月13日(日) 午前10時から午後6時まで
- (4) 場所(予定) 小平市民文化会館(ルネこだいら)2階 展示室
- (5) 事業費 一円(予算額1,650千円) 入場料：無料
- (6) 参加状況 来場者数 一人(令和元年度：791人) 出品数 一点(令和元年度：51点)
- (7) 主催 多摩北部都市広域行政圏協議会 開催市：小平市
企画 令和2年度多摩北部5市美術家展実行委員会

ウ 多摩六都フェア ぴゅあ あーと展 (東久留米市)

【中止】

- (1) 事業名称 多摩六都フェア 第15回 ぴゅあ あーと展
- (2) 事業内容 圏域5市が連携して、障がいのある人の作品展を開催することにより、その芸術・文化活動を推進するとともに、圏域市民の理解を深めることを目的として、平成18年度から事業を開始し、今年度で15回目を迎える。
- 圏域に居住、通勤し、障がいのある人の芸術・文化活動の推進に関心のある有志が実行委員会を立ち上げ、企画運営している。また、選考会及び作品展の会場設営や後片付けには、圏域5市の福祉作業所職員、手をつなぐ親の会の皆さんが応援スタッフとして、ボランティアで参加している。
- ぴゅあ あーと展は、選考会で専門家に選出された作品(絵画・書道・陶芸・立体・染物など)が展示されることから、同展に入選することが制作者の目標となり、日々のモチベーションアップにもつながっている。
- 本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オープニングセレモニーの省略や、オンラインによる開催の検討なども行ったが、参加者及び関係者の健康と安全を第一に考慮し、開催を中止した。(令和2年10月22日 たまろくナビ掲載)
- (3) 日時(予定) 令和3年2月24日(水)～2月26日(金)
- (4) 場所(予定) 東久留米市市民プラザホール、屋内ひろば
- (5) 参加状況 ー (令和元年度 展示作品 115点、応募作品 387点、来場者数 611人)
- (6) 事業費 ー 円(予算額 800千円)
- (7) 主 催 多摩北部都市広域行政圏協議会 開催市: 東久留米市
運 営 多摩六都フェア ぴゅあ あーと展実行委員会(今年度の実行委員会是不開催)

エ 多摩六都フェア パラアート制作ワークショップ及びパラアート展覧会 (西東京市)

【中止】

- (1) 事業名称 多摩六都フェア パラアート制作ワークショップ及びパラアート展覧会
- (2) 事業内容 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成及び大会後の共生社会の実現に向けて、障害の有無に関わらず、誰もが文化芸術に触れ、創造する環境づくりを促進するため、『とびらの向こうに!』～個性×□□の化学反応～をテーマに、パラアート制作ワークショップ及びパラアート展覧会を開催する予定としていた。
- 新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言の期間中において準備行為等を行わないことで実施が困難となるものについて、延期又は中止とする西東京市の対応方針により、開催中止とした。(令和2年5月15日 たまろくナビ掲載)
- (3) 日時(予定) ワークショップ: 令和2年8月1日(土)、8日(土)、15日(土)、22日(土) 全4回
展覧会: 令和2年10月8日(木)～11月28日(土)のうち32日間
表彰式: 令和2年11月28日(土)
- (4) 場所(予定) ワークショップ: 西東京市障害者総合支援センター フレンドリー
展覧会: 東久留米市立生涯学習センターまろにえホール、小平市中央公民館、
清瀬市コミュニティプラザひまわり、東村山市立中央公民館、
西東京市南町スポーツ・文化交流センター きらっと
表彰式: 西東京市南町スポーツ・文化交流センター きらっと
- (5) 参加状況 ー (令和元年度 受講生 9人、展覧会来場者数 836人、出品数 123作品、表彰式 49人)
- (6) 事業費 ー 円(当初予算額 2,500千円)
- (7) 主 催 西東京市・多摩北部都市広域行政圏協議会

(2) スポーツ事業 (多摩六都フェア)

多摩六都フェア スポーツ大会【2020 ボッチャ多摩六都カップ】(清瀬市) 【中止】

- (1) 事業名称 多摩六都フェア スポーツ大会 2020 ボッチャ多摩六都カップ
- (2) 事業内容 多摩北部都市広域行政圏協議会は、市域を越えた隣接する各市が相互に連携し、共通する行政課題を効果的に解決していくことを目的としており、共同スポーツイベントの推進として、多摩六都スポーツ大会を開催している。
- 本大会は、2021年に延期となった「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の気運醸成を目指し、令和元年度に引き続いて、パラリンピック競技の「ボッチャ」を通じて、各市の市民が相互に交流できる環境を充実させ、市民スポーツの活性化へとつなげることを目的に、開催を予定した。
- 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、検温やマスク着用、用具の消毒の他に、開催時間の短縮、式典の省略、観客席の閉鎖、参加チーム数の削減などの対策を講じたこととした。
- しかし、本大会には、重症化リスクの高い高齢者や障がい者の方々の参加が見込まれることから、参加者及び関係者の健康と安全を第一に考慮して、生涯スポーツ専門委員会において、中止の判断を行った。(令和2年10月9日 たまろくナビ掲載)
- (3) 日時(予定) 令和2年12月5日(土) 13時から16時まで
- (4) 場所(予定) 東村山市民スポーツセンター(東村山市)
- (5) 参加(予定) 20チームを想定(令和元年度40チーム)
- (6) 事業費 ー円(予算額244,500円)
- (7) 主催 多摩北部都市広域行政圏協議会 主管市:清瀬市
- (8) 協力(予定) 公益社団法人東京都障害者スポーツ協会
圏域5市スポーツ推進委員会(小平市・東村山市・清瀬市・東久留米市・西東京市)

(3) 緑の保全事業 (多摩六都フェア)

多摩六都フェア 水と緑ウォッチングウォーク (西東京市) 【中止】

- (1) 事業名称 多摩六都フェア 第18回 水と緑ウォッチングウォーク
- (2) 事業内容 圏域住民の貴重な財産といえる水と緑の豊かな自然を再発見し、自然を慈しむ心を育む機会として、毎年趣向を凝らしたウォーキングコースを設定して散歩する。
 本年度は、西武柳沢駅からすぐ近くにある都立東伏見公園を起点とし、下野谷遺跡公園で、国の史跡に指定されている下野谷遺跡を紹介し、縄文時代の歴史も体感する機会を設ける計画としていた。その後、都立狭山・境緑道の歩行者専用道などで花や樹木の自然に親しみながら、ゴールの小平市花小金井南市民広場を目指すコースで実施する予定としていた。
 定員を100名から50名に縮減し、班を少人数とするなど、感染症対策を予定していたが、7月から8月の新型コロナウイルス感染症拡大「第2波」により、事業は中止とし、参加者及び関係者の健康と安全を優先とすることとした。(令和2年9月29日 たまろくナビ掲載)
 なお、緑化専門委員会において、事業の中止に加え、延期又は代替事業について検討した。延期は各市の日程調整が困難なことから実施せず、代替事業として、協議会ホームページ「たまろくナビ」散歩コースのリニューアルを行った。
- (3) 日時 (予定) 令和2年10月3日 (土)
- (4) 場所 (予定) 西東京市、小平市
 西武柳沢駅 → 都立東伏見公園 → 下野谷遺跡公園 → 都立狭山・境緑道公園 → おおぞら公園 → 都立狭山・境緑道 → 花小金井南市民広場 (解散場所)
- (5) 事業費 57,200円 (ポスター等印刷に伴う校正に係る費用) (予算額214千円)
- (6) 主催 多摩北部都市広域行政圏協議会 開催市: 西東京市



第18回 水と緑ウォッチングウォークポスター (写真左) およびコース図 (写真右)

令和2年9月1日から圏域5市で参加者募集をする予定で、ポスター等の作成を進めていた。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催市から中止を提案し、令和2年8月19日の緑化専門委員会で、正式に中止とした。

(4) 青少年健全育成事業（多摩六都フェア）

ア 多摩六都フェア ヤング・ダンスフェスティバル（小平市）【中止】

- (1) 事業名称 多摩六都フェア 第14回 多摩六都ヤング・ダンスフェスティバル
- (2) 事業内容 本広域行政圏の青少年健全育成事業として、平成19年度に立ち上げた事業のひとつ。
多摩北部都市広域行政圏の高等学校の生徒を対象として、ヒップホップ、ブレイクダンス、ジャズダンス等、ジャンルを問わず、ダンス発表の場を提供するとともに、高校生の自主性を育む。また、この活動を通じて地域に高校生が活躍する場を作り、地域貢献する喜びを持たせ、活気あるまちづくりを推進することを目的とする。
本事業は、圏域の高校21校に呼びかけて参加チームを募集している。参加チームの代表者で組織される「高校生代表者会議」により企画運営（企画検討、当日の司会や受付、会場整理など）が行われ、高校生による高校生のためのイベントとして定着している。例年多くの来場者があり、多摩六都全域で盛り上がりを見せている。
本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を2日に分け、出演者及び学校関係者のみでの実施を予定していたが、1月7日に発令された緊急事態宣言を受け、都立高校の部活動が中止となり、期間中の会議が行えずに準備期間が不足すること、年度末で延期が難しいことから、前年度に続き2年連続で開催を中止した。（令和3年1月28日 たまろくナビ掲載）
- (3) 日時（予定） 令和3年2月20日（土） 午後3時15分から、21日（日） 午後1時から
- (4) 場所（予定） 小平市民文化会館（ルネこだいら）大ホール
- (5) 応募状況 13校28チーム出演者551人（令和元年度：14校、24チーム、539人 ※直前に中止）
白梅学園高校、小平高校、小平西高校、小平南高校、
東村山高校、東村山西高校、日本体育大学桜華高校、明治学院東村山高校、
東久留米総合高校、田無高校、保谷高校、武蔵野大学高校、清瀬高校
- (6) 事業費 160,710円 ※作成済のチラシ、パンフレット、チケットに要する費用（予算額546千円）
- (7) 主催 多摩北部都市広域行政圏協議会 開催市：小平市
主管 小平市教育委員会 企画運営 高校生代表者会議

イ 多摩六都フェア ヤングライブフェスティバル（東村山市）【中止】

- (1) 事業名称 多摩六都フェア 第14回 ヤングライブフェスティバル
- (2) 事業内容 本広域行政圏の青少年健全育成事業として、平成19年度に立ち上げた事業のひとつ。
構成5市に在住・在勤・在学する概ね15歳から25歳の青少年が構成するグループ又は個人（ジャンルを問わず）が一堂に会して日頃の活動成果を発表する場を提供し、圏域内の青少年の居場所づくりと交流を目的としている。
例年、各グループの代表者が事前に実行委員会に参画し、開催準備から運営に携わっている。司会進行は、当市教育委員会事業「東村山っ子育成塾」でリーダーの高校生と大学生が務める。
参加者は、ステージ上の演奏だけでなく、受付による来場者の出迎え、演出の考案、司会者とのトークや出演者に対するインタビューなど、来場者を楽しませる工夫を行っており、また出演したいといった声も挙がるなど、圏域内の青少年の交流の場となっている。
本年度は、参加団体募集の時期に新型コロナウイルス感染症の感染が拡大傾向となったため、募集前に、本年度中の開催を中止とした。（令和3年1月5日 たまろくナビ掲載）
- (3) 日時（予定） 令和3年2月14日（日） 午前10時～午後5時
- (4) 場所（予定） 東村山市立富士見公民館ホール
- (5) 参加状況 来場者数 一人（延べ人数）（令和元年度 556人）
- (6) 事業費 一円 ※事業費は中止のため支出無し（予算額450千円）
- (7) 主催 多摩北部都市広域行政圏協議会、多摩六都ヤングライブフェスティバル実行委員会
開催市 東村山市 共催 東村山市教育委員会

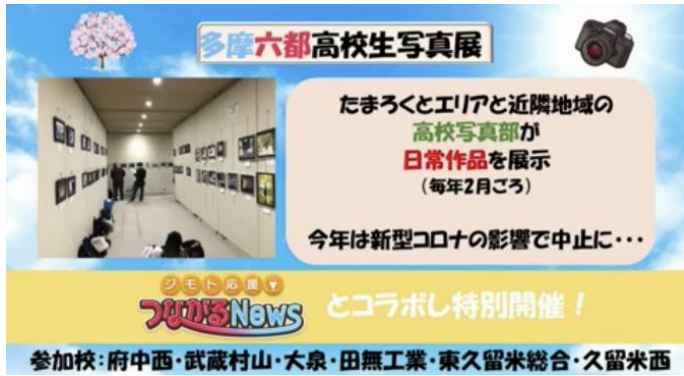
ウ 多摩六都フェア 高校生写真展（清瀬市）

- (1) 事業名称 【テレビ番組上開催】多摩六都高校生写真展×ジモト応援！つながる News
- (2) 事業内容 多摩北部地域を中心とする高等学校の写真部等が日常の作品を持ち寄り、写真技術の向上と部活動の活性化及び高校生同士の交流を図ることを目的とする。
- 同世代の物の見方や考え方に触れ合い、写真をとおして感性や創造性を発見する絶好の場となっており、少人数の写真部等では部活動の活性化に寄与してきた。
- 平成 18 年度に第 1 回を開催した。当時協議会に設置されていた社会教育専門委員会において、青少年健全育成のための居場所づくりとして、高校生以上を主な対象としたイベントや交流事業の展開を検討し、小平市の「ヤング・ダンスフェスティバル」、東村山市の「ヤングライブフェスティバル」に先立ち、平成 18 年度に試行実施された。令和 2 年度は第 15 回大会となった。
- もともとは、合同写真展として、平成 12 年度に都立清瀬東高校写真部と都立久留米高校写真部で立案されたもので、都立小平高校写真部の参加を得て、平成 13 年 1 月 19 日～23 日第 1 回合同写真展として、清瀬市生涯学習センター（清瀬駅北口）のギャラリーで開催されたのを契機に、今回で第 21 回を数えた。
- 今回は、令和 3 年 2 月 7 日（日）～2 月 13 日（土）、清瀬市郷土博物館 2 階ギャラリーで開催を予定していたが、1 月 7 日に発令された緊急事態宣言を受け、都立高校の部活動が中止となり準備が進められないことから、一旦は中止とした。
- その後、株式会社ジェイコム東京 地域コミュニケーション統括部から、同社のケーブル放送番組で発表の機会を提供いただいた。「多摩六都高校生写真展×ジモト応援！つながる News」と題し、5 日間にわたって各参加校の写真を番組上で発表した。
- (3) 開催月日 令和 3 年 3 月 15 日（月）～19 日（金） 午後 5 時～5 時 30 分（再放送あり）J:COM にて放送番組は、スマートフォンアプリ「ど・ろーかる」にて、放送から 1 週間限定で配信された。
- (4) 開催場所 番組名 : 「ジモト応援！つながる News」
コーナー名 : 「多摩六都高校生写真展×ジモト応援！つながる News」（各日 2 分間程度）
放送エリア : 小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市
練馬区、武蔵野市、三鷹市、府中市、小金井市、国分寺市、新座市、和光市
（緊急事態宣言が発令中のため、拡大エリアで放送）
- (5) 参加状況 6 校、78 人（卒業生等含む。）、展示作品数 113 点（令和元年度：7 校、52 人、137 点）
都立東久留米総合高等学校（3 月 17 日）、都立久留米西高等学校（3 月 19 日）、
都立武蔵村山高等学校（3 月 16 日）、都立大泉高等学校（3 月 19 日）、
都立田無工業高等学校（3 月 18 日）、都立府中西高等学校（3 月 15 日）
来場者数 ー
- (6) 事業費 0 円
- (7) 主催 多摩北部都市広域行政圏協議会
共催 合同写真展実行委員会、清瀬市教育委員会、株式会社ジェイコム東京

多摩六都高校生写真展×ジモト応援！つながる News 放送画面から



多摩六都高校生写真展×ジモト応援！つながる News 放送画面から

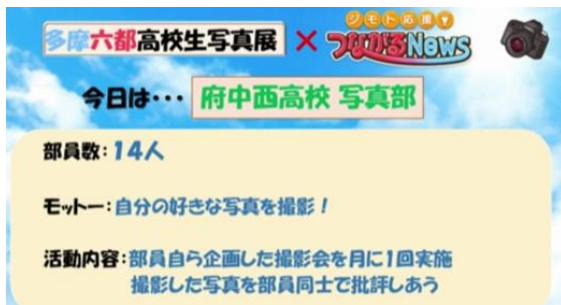


【写真の紹介】



【参加校の紹介】

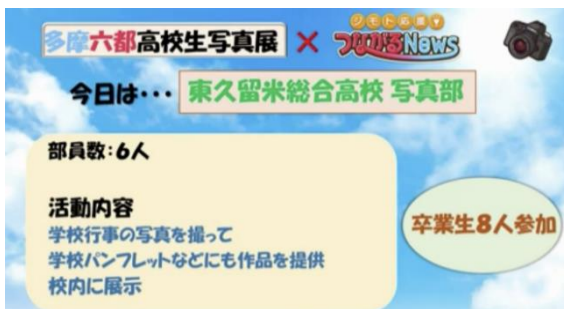
3月15日（月）府中西高校 写真部



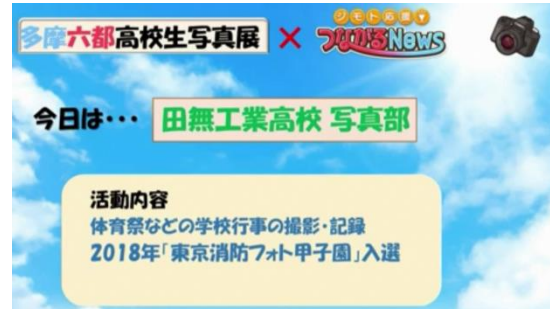
3月16日（火）武蔵村山高校 写真部



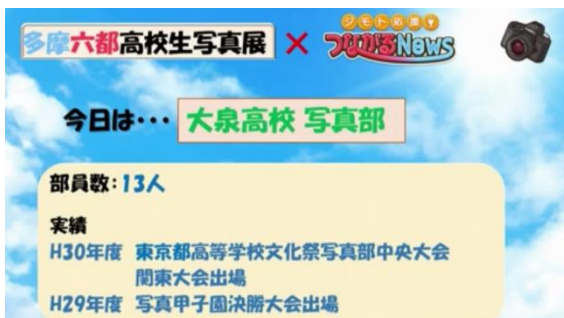
3月17日（水）東久留米総合高校



3月18日（木）田無工業高校



3月19日（金）大泉高校 写真部



3月19日（金）久留米西高校 写真部

